

社会教育・生涯学習の 基礎知識



福岡県立社会教育総合センター
社会教育振興室調査・研修班



【内容】

- 1 はじめに
- 2 社会教育・生涯学習とは
- 3 社会教育・生涯学習の動向
- 4 社会教育・生涯学習関係職員に
求められること
- 5 おわりに



社会教育・生涯学習クイズ！！

第1問 「社会教育」と「生涯学習」の違いは？

- ① 表記がちがうだけで内容は同じである。
- ② 「社会教育」はこどもが対象、「生涯学習」は大人が対象である。
- ③ 「社会教育」よりも「生涯学習」の方が大きな概念である。



社会教育・生涯学習クイズ！！

第2問 これから実現を目指す「Society5.0」とは、どんな社会？

- ① ムラの住民の協働により、食物を獲得したり、器を作ったりする社会
- ② 仮想的空間と現実空間を高度に融合させたシステムが経済発展と社会的課題の解決を両立する人間中心の社会
- ③ IT革命による情報の取得や共有が重視される社会



社会教育・生涯学習クイズ！！

第3問 地域コミュニティにおける個人と地域全体のウェルビーイングの向上がもたらされるために必要なのは、何の循環？

- ① 「人づくり・つながりづくり・地域づくり」の循環
- ② 「まちづくり・生きがいづくり・安心づくり」の循環
- ③ 「PDCA」による行事や事業の循環



生涯学習とは

教育基本法

第一章 教育の目的及び理念

(生涯学習の理念)

第三条

国民一人一人が、自己の人格を磨き、豊かな人生を送ることができるよう、その生涯にわたって、あらゆる機会に、あらゆる場所において学習することができ、その成果を適切に生かすことのできる社会の実現が図られなければならない。



社会教育とは

教育基本法

第二章 教育の実施に関する基本 (社会教育)

第十二条

個人の要望や社会の要請にこたえ、社会において行われる教育は、国及び地方公共団体によって奨励されなければならない。

2 国及び地方公共団体は、図書館、博物館、公民館その他の社会教育施設の設置、学校の施設の利用、学習の機会及び情報の提供その他の適当な方法によって社会教育の振興に努めなければならない。



社会教育とは

社会教育法

(社会教育の定義)

第二条

この法律において「社会教育」とは、学校教育法又は就学前の子どもに関する教育、保育等の総合的な提供の推進に関する法律に基づき、学校の教育課程として行われる教育活動を除き、主として青少年及び成人に対して行われる組織的な教育活動（体育及びレクリエーションの活動を含む。）をいう。



生涯学習

教育基本法（第三条 生涯学習の理念）

- 生涯にわたって、あらゆる機会、あらゆる場所において学習することができる。
- 成果を適切に生かすことのできる社会の実現

家庭教育

学校教育

社会教育

教育基本法（第十二条 社会教育）

- 国及び地方公共団体によって奨励されなければならない。

社会教育法（第二条 社会教育の定義）

- 主として青少年及び成人に対して行われる組織的な教育活動



生涯学習

教育による学習

「教える者」と「学ぶ者」による行為

【社会教育による学習】

- 国、自治体、公民館等が行う講座
- 大学等の学校が行う公開講座
- 青少年団体等が行う青少年教育
- 民間教育事業者の行う通信教育、
カルチャースクール
- 個人経営のピアノ教室等の個人による教育 等

【家庭教育による学習】

【学校教育による学習】

自己学習

「学ぶ者」のみ

による行為

- 読書等の自主学習
- スポーツ活動
- 文化活動
- 奉仕活動
- 体験活動
- 趣味やレクリエーション活動における学習 等

現代社会

現代社会って、どんな社会？どんな時代？



予測困難な時代 (VUCAの時代)

Volatility
(変動性)

Uncertainty
(不確実性)

Complexity
(複雑性)

Ambiguity
(曖昧性)



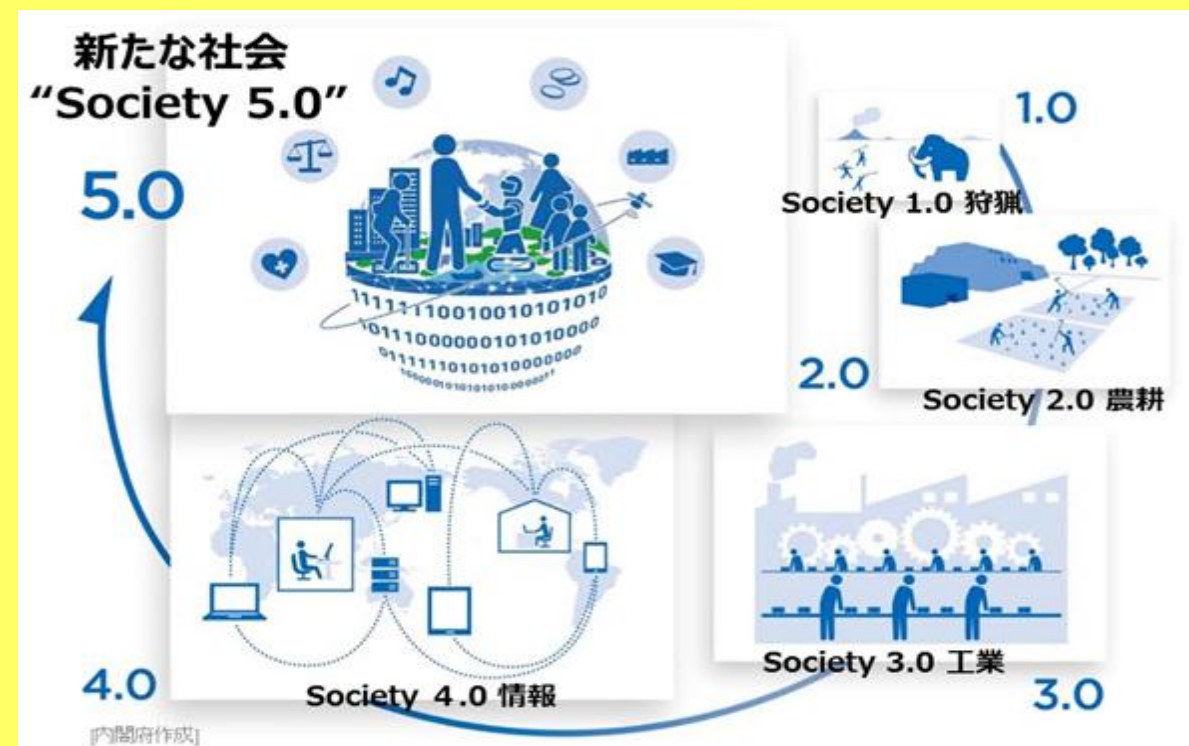
人生100年時代

ある海外の研究を基にすれば、「日本では、2007年に生まれたこどもの半数が107歳より長く生きる」と推計されており、我が国は健康寿命が世界一の長寿社会を迎えている。

[「人生100年時代構想会議中間報告(平成29年12月)』より]

Society5.0

サイバー空間とフィジカル空間を高度に融合させたシステムにより、経済発展と社会的課題の解決を両立する人間中心の社会



[「内閣府ホームページ」より]



こどもまんなか社会

全てのこども・若者が、
(中略) 身体的・精神的・
社会的に将来にわたって
幸せな状態（ウェルビー
イング）で生活を送るこ
とができる社会



〔「こども大綱」（令和5年12月22日閣議決定）より〕



予測困難な時代 (VUCAの時代)

Volatility
(変動性)

Uncertainty
(不確実性)

Complexity
(複雑性)

Ambiguity
(曖昧性)

人生100年時代

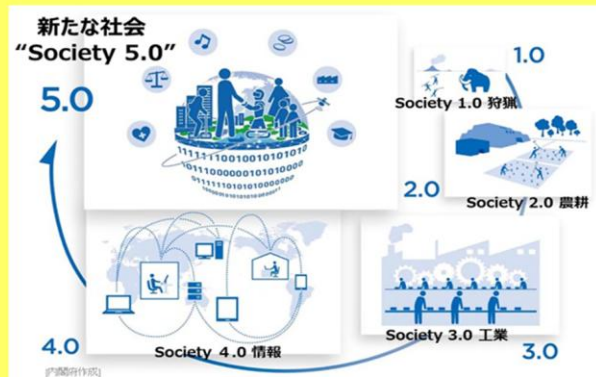
ある海外の研究を基にすれば、「日本では、2007年に生まれたこどもの半数が107歳より長く生きる」と推計されており、我が国は健康寿命が世界一の長寿社会を迎えている。

〔「人生100年時代構想会議中間報告(平成29年12月)」より〕

現代社会

Society5.0

サイバー空間とフィジカル空間を高度に融合させたシステムにより、経済発展と社会的課題の解決を両立する人間中心の社会



〔「内閣府ホームページ」より〕

こどもまんなか社会

全てのこども・若者が、(中略)身体的・精神的・社会的に将来にわたって幸せな状態(ウェルビーイング)で生活を送ることができる社会



〔「こども大綱」(令和5年12月22日閣議決定)より〕

第4期教育振興基本計画（令和5年度～9年度）

令和5年6月16日閣議決定

2つのコンセプト

2040年以降の社会を見据えた
持続可能な社会の創り手の育成

日本社会に根差した
ウェルビーイングの向上



ウェルビーイング

- 身体的・精神的・社会的に良い状態にあることをいい、短期的な幸福のみならず、生きがいや人生の意義などの将来にわたる持続的な幸福を含む概念。
- 多様な個人がそれぞれの幸せや生きがいを感じるとともに、個人を取り巻く場や地域、社会が幸せや豊かさを感じられる良い状態にあることも含む包括的な概念。

[「第4期教育振興基本計画 リーフレット」より]



日本社会に根差したウェルビーイングの向上

個人が獲得・達成する
能力や状態に基づく
ウェルビーイング
(獲得的要素)

- ・自己肯定感
- ・自己実現 など



人とのつながり・関係性に
基づくウェルビーイング
(協調的要素)

- ・利他性
- ・協働性
- ・社会貢献意識 など



両者を調和ある形で一体的に
向上させていくことが重要



第4期教育振興基本計画（令和5年度～9年度）

令和5年6月16日閣議決定

2つのコンセプト

2040年以降の社会を見据えた
持続可能な社会の創り手の育成

日本社会に根差した
ウェルビーイングの向上

5つの基本的な方針

③地域や家庭で共に学び支え合う社会の実現に向けた教育の推進



第4期教育振興基本計画（令和5年度～9年度）

③地域や家庭で共に学び支え合う社会の実現に向けた教育の推進

地域において人々の関係を共感的・協調的なものとするためには、社会教育による「学び」を通じて人々の「つながり」や「かかわり」を作り出し、協力し合える関係としての土壌を耕しておくことが求められる。こうして形成された地域の人々の関係は持続的な地域コミュニティの基盤となり、ひいては社会全体の基盤となる。

「人づくり・つながりづくり・地域づくり」の循環が生み出されることにより、地域コミュニティにおける個人と地域全体のウェルビーイングの向上がもたらされる。地域で人と人とのつながりを作り、協調的な幸福感を紡ごうと取り組んでいる人たちが自信と誇りを持つことができるようにしていく必要がある。

社会教育による学びを通じた

人づくり

つながりづくり

地域づくり



社会教育人材の養成及び活躍促進の在り方について(最終まとめ)

令和6年6月 中央教育審議会生涯学習分科会社会教育人材部会

社会教育の裾野の広がり、社会教育人材が果たすべき役割

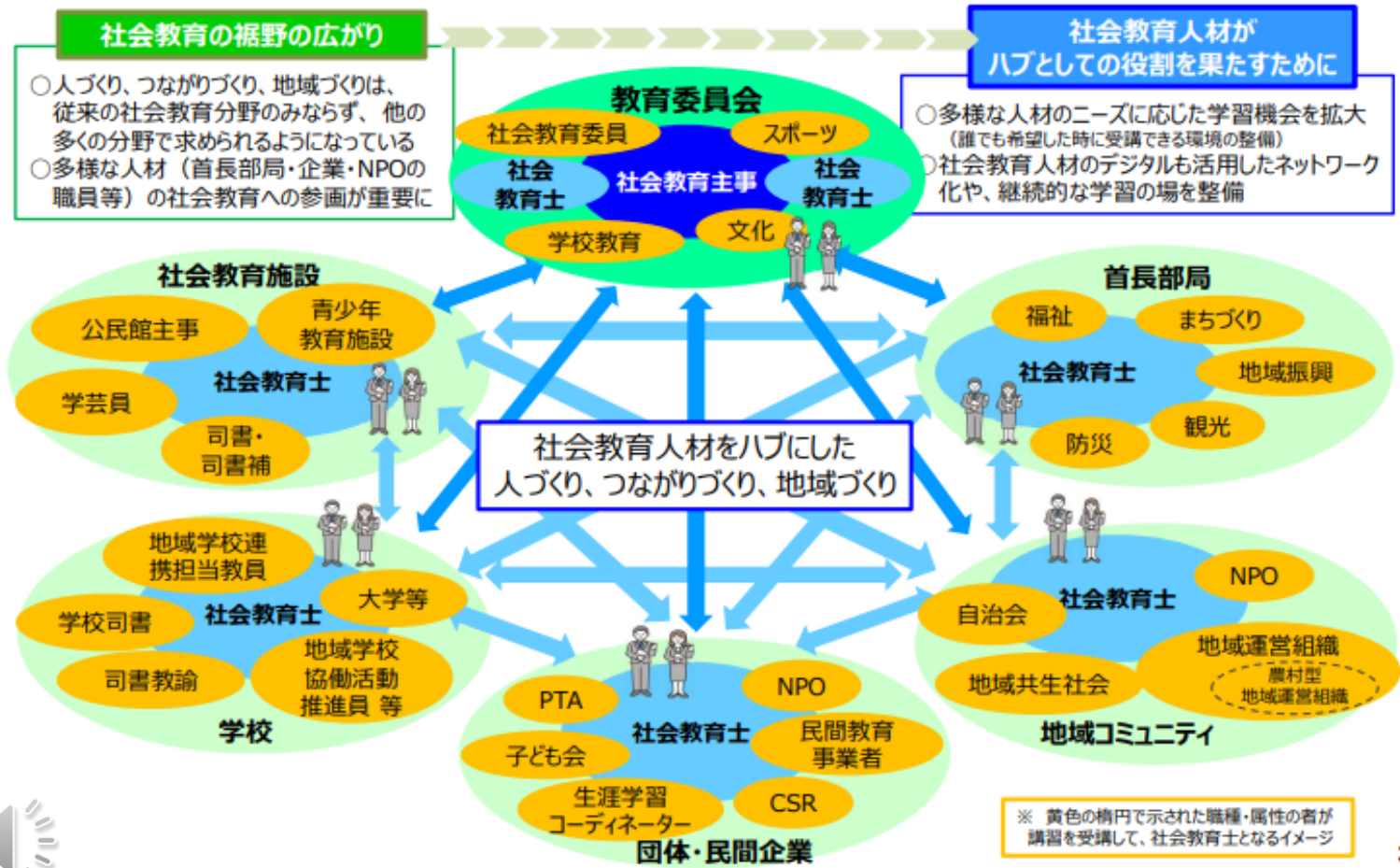


社会教育の裾野の広がり

- 人づくり、つながりづくり、地域づくりは、従来の社会教育分野のみならず、他の多くの分野で求められるようになっている
- 多様な人材（首長部局・企業・NPOの職員等）の社会教育への参画が重要に

社会教育人材がハブとしての役割を果たすために

- 多様な人材のニーズに応じた学習機会を拡大（誰でも希望した時に受講できる環境の整備）
- 社会教育人材のデジタルも活用したネットワーク化や、継続的な学習の場を整備



社会教育人材を
ハブにした
人づくり
つながりづくり
地域づくり
の実現によって社会
教育の振興を図って
いく

※ 黄色の楕円で示された職種・属性の者が講習を受講して、社会教育士となるイメージ

社会教育人材の養成及び活躍促進の在り方について(最終まとめ)

令和6年6月 中央教育審議会生涯学習分科会社会教育人材部会

2 (1) 社会教育人材に求められる能力・知見

- 全ての社会教育人材に必要な知識として、社会教育とは何かという基本的理解を深める内容に加え、地域における学びと実践活動の循環を、効果的に進めるために必要なコーディネート能力、ファシリテーション能力、プレゼンテーション能力など、様々な活動において汎用的に活用し得る能力の習得が求められる
- 関係行政機関やNPO、企業等の多様な主体と連携・協働が想定され得るため、社会教育行政に関する一定程度の基本的な知識を含め、関係行政機関や多様な主体と連携・協働を図りながら学習成果を地域課題解決等につなげていくための知識や技能の習得を図ることが必要

社会教育・生涯学習クイズ！！

第1問 「社会教育」と「生涯学習」の違いは？

- ① 表記がちがうだけで内容は同じである。
- ② 「社会教育」はこどもが対象、「生涯学習」は大人が対象である。
- ③ 「社会教育」よりも「生涯学習」の方が大きな概念である。 **正解！**



社会教育・生涯学習クイズ！！

第2問 これから実現を目指す「Society5.0」とは、どんな社会？

① ムラの住民の協働により、食物を獲得したり、器を作ったりする社会 ← Society1.0 狩猟社会

② 仮想的空間と現実空間を高度に融合させたシステムが経済発展と社会的課題の解決を両立する人間中心の社会 **正解！**

③ IT革命による情報の取得や共有が重視される社会 ← Society4.0 情報社会



社会教育・生涯学習クイズ！！

第3問 地域コミュニティにおける個人と地域全体のウェルビーイングの向上がもたらされるために必要なのは、何の循環？

- 正解！**
- ① 「人づくり・つながりづくり・地域づくり」の循環
 - ② 「まちづくり・生きがいづくり・安心づくり」の循環
 - ③ 「PDCA」による行事や事業の循環



社会教育・生涯学習の 基礎知識



福岡県立社会教育総合センター
社会教育振興室調査・研修班

